



# NiFA NEWS

## (一社)新潟県サッカー協会 65周年記念式典挙行!!

(一社)新潟県サッカー協会創立65周年式典・祝賀会は9月14日(土)新潟市内の木テルで盛大に開催された。

式典では冒頭、当協会澤村哲郎会長より式辞が述べられた後、来賓を代表して日本サッカー協会田嶋幸三副会長、北信越サッカー協会平林正光会長、中村稚枝子新潟県民生活環境部長よりご挨拶をいただいた後、功労者への表彰式が行われ、表彰者を代表して平山征夫前知事、小嶺忠敏前国見高校サッカー部監督より謝辞が述べられた。



(一社)新潟県サッカー協会創立65周年式典・講演会・祝賀会は、多くの方々の来場のもと、盛大に執り行われました。

祝賀会においては多くの来賓の皆様から出席をいただいたなか、日本サッカー協会田嶋幸三副会長をはじめ、泉田裕彦新潟県知事、国會議員を代表して長嶋忠美衆議院議員、県議會を代表して尾身孝昭副議長よりご挨拶をいただいたのち、約30名の特別来賓の皆様による鏡開きが行われた。その後、篠田昭新潟市長の乾杯により祝賀会が開宴した。宴では南万代小学校の皆さんによる万代太鼓の演奏などが行われ盛況の内に幕を閉じた。以下は澤村哲郎会長が式典においてご挨拶した式辞です。

### 式辞



(一社)新潟県サッカー協会  
会長  
澤村 哲郎

ご多忙の中、当協会創立65周年式典・講演会・祝賀会に県内外から多数の皆様よりご臨席を賜わり、心より御礼を申し上げます。  
当協会は昭和24年に創設され、今年で65周年を迎えることになりました。  
草創期には県外から来られた医科学生や大学の先生方が中心となり活動し、歴史の第一歩が始まりました。  
しかし、本格的にサッカーを経験した者も少なく協会組織も未熟なものであり、残念ながら当時サッカー後進県と言われました。  
昭和39年の新潟国体開催を契機に本格的な組織作りにあたり共に普及強化が急速に進み現協会の基礎期が作られました。その後多くの関係各位のご指導ご支援の中、Jリーグ発足とともに誕生したアルビレックス新潟、2001年のFIFAコンフェデレーションカップまた2002年のFIFA日韓ワールドカップ杯開催が引き金となり飛躍的にサッカー文化が普及し今や全国に誇れるまでに成長し、私にとつては夢のようであります。これもひとえに長い間温かいご指導、ご支援いただいた県内外の多くの関係各位の賜物と心から感謝申し上げます。  
更に今後は輝く未来へ夢を託し、サッカーというスポーツ文化を通しスマイル&チャレンジをモットーに、地域スポーツ文化を発展させ、健全な青少年、元気な中高年作りを努めると共に人づくり、町づくり、夢づくりを通し明るく健康な豊かな社会作りに貢献してまいりたいと考えています。  
また、スポーツをもっと身近なものにし、スポーツとともに歩む社会の実現に努めてまいりたいと思います。  
今後とも是非皆様の力と知恵をお貸しいただきたくお願い申し上げます。  
最後にご出席いただいた皆様の益々のご健勝とご発展を祈念申し上げご挨拶と致します。

## お祝いのごとば

(公財)日本サッカー協会

会長 大仁 邦彌

創立65周年、おめでとうございませう。

1949年に新潟県蹴球協会が設立されて以来、貴協会は新潟におけるサッカーの普及・振興に取り組んでこられました。その長年の努力は、2002年のFIFAワールドカップの成功とアルビレックス新潟の誕生によって花開き、「サッカー不毛の地」と言われた新潟を一段と大きく発展させました。

新潟県知事 泉田 裕彦

新潟県サッカー協会が創立65周年を迎えられましたことを、お祝いを申し上げます。また、昭和24年の創立以来、65年の長きに渡り、サッカーの普及、競技力向上やスポーツの振興に大きな役割を果たしてこられたことに對し、心から敬意を表します。東京オリンピック開催が決定し、スポーツへの関心が一層高まる中、今後とも、県民に夢と元気を与える活動に取り組みられることを期待しております。

北信越サッカー協会  
会長 平林 正光

新潟県サッカー協会は2回の国体の開催に加え、2002年日韓共催ワールドカップでは、「日本海側唯一の開催地」として見事その重責をはたされました。これら大会開催の実現に至るまでの基盤を築かれた諸先輩のご功績はもとより、その上に立ちさらに高い目標を掲げ意欲的に諸事業を展開された貴協会の行動力に敬服いたしております。常に、日本サッカー協会や地元自治体と緊密な連携

新潟県知事 泉田 裕彦  
新潟県サッカー協会が創立65周年を迎えられましたことを、お祝いを申し上げます。また、昭和24年の創立以来、65年の長きに渡り、サッカーの普及、競技力向上やスポーツの振興に大きな役割を果たしてこられたことに對し、心から敬意を表します。東京オリンピック開催が決定し、スポーツへの関心が一層高まる中、今後とも、県民に夢と元気を与える活動に取り組みられることを期待しております。

(公財)新潟県体育協会  
会長 馬場潤一郎  
新潟県サッカー協会の創立65周年を心からお祝い申し上げます。  
まずもって、昭和24年の設立から今日に至るまでの歴代関係者の皆様のたゆまぬ情熱とご努力に、深く敬意を表する次第であります。  
2002年のワールドカップ開催を契機として飛躍した当県のサッカー環境を更に充実させるべく創意工夫を重ね、スポーツ文化の創造に寄与している貴協会の活動に、新潟県体育協会として大いに感謝と期待をしております。  
今後ますます新潟県サッカー協会が発展されますことと県内サッカーファミリーの充実をお祈り申し上げます。お祝いの言葉といたします。

新潟県サッカー協会ならびに関係の皆さま、創立65周年に御慶び申し上げます。  
貴協会は、昭和24年の創設以降、アルビレックス新潟の誕生、2002ワールドカップ開催、そして、新潟国体で

65周年記念事業受賞者一覧

特別賞 6名

元JFA会長 岡野 俊一郎
JFA副会長 田嶋 幸三
日本代表 神田 勝夫
日本代表 酒井 高德
日本代表 川村 優理
日本代表 大橋 佳介

特別功労賞 7名

前知事 平山 征夫
アルビレックス新潟会長 池田 弘
協会名誉会長 馬場 潤一郎
協会顧問 大川 健
協会顧問 星野 陸夫
協会顧問 野島 二郎
協会顧問 十二重 樹

功労賞 37名

初代教員監督 篠田 昭八郎
協会顧問 石井 修
協会顧問 金子 良次
協会顧問 森 啓之輔
協会顧問 五十嵐 茂夫
協会顧問 山崎 孝雄
協会顧問 三條 孝夫

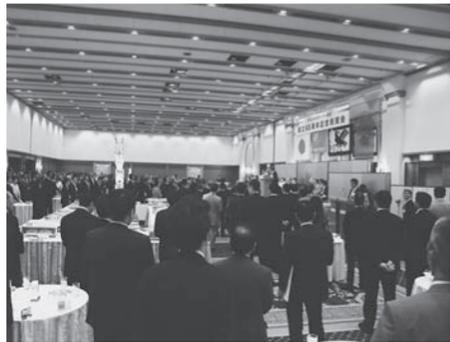
弁護士 山崎 隆夫
4種委員会 笠原 松男
労働士 水戸 伸朗
中体連 坂爪 公男
税理士 竹内 達夫
藤田 均
協会参与 古川 智久
女子委員会 中川 靖
市町村協会 高橋 正三
市町村協会 近藤 康信
市町村協会 諸橋 衛

感謝状【個人】 19名
元大淀高等学校監督 阿部 章
前静岡学園高等学校監督 井田 勝通
奈良育英高等学校監督 上間 政彦
元高槻南高等学校監督 悦勝 公豪
前室蘭大谷高等学校監督 加藤 栄治
前作陽高等学校監督 木村 清
元帝京高等学校監督 古沼 貞雄
前佐野日本大学高等学校監督 小林 功
前国見高等学校監督 小嶺 忠敏
前盛岡商業高等学校監督 齋藤 重信
暁星高等学校監督 林 義規
前日本大学三島高等学校監督 南谷 光一
元浦和南高等学校監督 松本 暁司
元スポーツメーカー社長 遠藤 三千雄
静岡城内フットボールクラブ監督 納谷 義郎

感謝状【行政・企業】 23団体
新潟市 新発田市 十日町市 聖籠町
行政 新発田市 十日町市 聖籠町
行政 Jリーグチーム
行政 アルビレックス新潟 専門学校
施設 JAPANサッカーカレッジ
施設 新潟スタジアム
施設 新潟県総合生活協同組合
企業 (株)イタリヤ軒
企業 月岡ニューホテル冠月
企業 (株)ホテルオークラ新潟
企業 (株)ホテルプラザ新潟
企業 ANクラウンプラザホテル新潟
企業 新潟ブランドホテル
企業 (株)モルテン北信越支店
企業 プーマジャパン株式会社
企業 三國コカ・コーラ株式会社
企業 (株)サン・スポーツプロモーション
企業 NPO法人シシマリアン

特別来賓名簿

公益財団法人日本サッカー協会副会長 新潟県議会議長 田嶋 幸三 様
北信越サッカー協会会長 新潟県議会議員 平林 正光 様
新潟県知事 新潟県議会議員 泉田 裕彦 様
公益財団法人新潟県体育協会会長 新潟市議会議長 馬場 潤一郎 様
青木 千代子 様
衆議院議員 長島 忠美 様
衆議院議員 石崎 徹 様
衆議院議員 細田 健一 様
衆議院議員 斎藤 洋明 様
衆議院議員 金子 恵美 様
衆議院議員 菊田 真紀子 様
衆議院議員 鷲尾 英一郎 様
参議院議員 塚田 一郎 様
参議院議員 中原 八一 様
新潟県議会副議長 尾身 孝昭 様
新潟県議会議員 石井 修 様
新潟県議会議員 渡辺 惇夫 様
新潟県議会議員 小野 峯生 様
新潟県議会議員 澤野 修 様
新潟県議会議員 桜井 甚一 様
新潟県議会議員 榎井 辰雄 様
新潟県議会議員 富樫 一成 様
新潟県議会議員 小林 一大 様
新潟県議会議員 市川 政広 様
新潟県議会議員 大久保サッカー少年団監督 片岡 芳武
GP(ゴルフランクス)監督 小俣 基行
種徳サッカー少年団監督 村田 久忠
北浦和サッカー少年団監督 吉野 弘一



# 御礼のことば

(公財) 日本サッカー協会

最高顧問 岡野俊一郎

早速ながら此の度は貴協会設立65周年記念式典に参列出来ず大変申し訳なく、かつ残念に思つて居り、心よりお詫び申し上げます。

それにも関わらず、賞状をはじめ貴重な記念品を数々お送り賜り大変恐縮に存じますと共に、御高配に対し心より御礼を申し上げます。

率直に申して、雪深い日本海沿岸の地域はサッカー不毛の地と考えられる時期が長く続きましたが、2002ワールドカップ開催を契機に新潟に素晴らしいチーム、素晴らしい競技場、そして素晴らしいサポーターが誕生し、今や大きな勢力になろうとしています。

これもひとえに会長を始めとする貴協会関係者の皆様の御努力であり、深甚な敬意と感謝を申し上げます。

貴協会の益々の発展を祈念すると共に、御高配に心より感謝を申し上げます。

柏崎市体育協会  
会長 近藤 康信

御礼。この度は、県サッカー協会創立六十五周年記念式典・祝賀会にお招きいただき、その上、身にあまる功労賞・記念品を賜り、大変有難く、感謝に耐えません。記念事業成功のお祝いとともに、心から御礼申し上げます。

一九四七年(昭和二十二年)、高一で、まだ見たこと



# 創立65周年記念式典の報告

一般社団法人新潟県

サッカー協会創立65周年記念式典は、去る9月14日新潟市内のホテルオークラ新潟において開催されました。

折から秋の行楽シーズン三連休の初日、またサッカーファミリーにとって大変多忙であり重要な時期であるにもかかわらず、350名をはるかに越える多数の出席者を迎え、厳粛にかつ盛大に執り行われました。

来賓に、泉田裕彦新潟県知事をはじめ国・県・市町村議会議員、関係自治体首長、そしてサッカー界からは、公益財団法人日本サッカー協会の田嶋幸三副会長はじめ北信越の各サッカー協会の方々をお迎えしました。

また、式典においては、新潟県のサッカースポーツを草創期から現在に至るまで常にリードし貢献された方たちが表彰されました。来賓、表彰者の多さは、あらためて新潟県サッカーの歴史と隆盛に通ずるものと考えさせられます。

式典は、定刻BSN新潟放送の小尾浩子アナウンサーの総合司会により始まりました。創立65周年記念式典実行委員長の協会副会長光野治氏の開会の辞のあと主催者を代

表して協会会長澤村哲郎氏の挨拶がありました。澤村会長の新潟県サッカー協会及び新潟県のサッカースポーツに寄せる強い思いが描かれ、そして節目となるこの式典に向けた感慨深い挨拶でありました。次いで、来賓より挨拶を頂戴しました。各位の協会に寄せられた期待と熱意が伝わり、若干長い話もわずかな時間に思える内容でありました。

と、講師紹介が行われ講演が始まりました。講演中は、熱心にメモを取る方、後の祝賀会から参加予定でありながら話を聞きたいと希望される方などがおり、講演会に寄せる期待の大きさを物語っておりました。

種田和義講師による協会65周年の歩みでは、会場一同現在そして将来に思いを馳せたことでしょう。次いで、二宮清純講師からは、スポーツ全般に関わる現状と課題など実例を交え熱のこもった話を頂戴しました。スポーツの持つ役割を再認識し、協会や自身の活動がいかに必要とされているのかを感じておりました。

祝賀会は、泉田裕彦新潟県知事様や多数の国会議員また県議員はじめ、関係自治体の方々の出席を賜り、華やかな会となりました。数々の団体の演技や音楽、パフォー

マンズを楽しみながら舌鼓を打ち、日ごろの多忙をしばし忘れ、笑顔で話に没頭している参加者の姿が見られました。酔いが回りお腹が膨れた頃には皆さんすっかりサッカー現役です。まるでサッカー少年や若きプレーヤーそのものです。本当にサッカーに心酔し楽しんで

る人々の集まりで、皆、時が「あの頃」に戻ったかのようです。

さて、祝賀会はいつしか終了の時を迎えます。新潟日報社神田敬輔様のご発声による万歳三唱は、思いのたけをこめた見事なものでした。

名残を惜しみロビーで語る方々、明日の競技運営のために急ぎ帰路に着く方々、形は異なっても、全ての人の背中「サッカー」の文字が浮かびます。まさに新潟県サッカーを背負う人たちの





# 天皇杯

○ 3 回 戦 ○

10月13日(日) 東北電力ビッグスワンスタジアム 13:00キックオフ

## アルビレックス新潟 — 大分トリニータ

チケット販売所：入場券、駐車券のご購入は以下のプレイガイドにてお買い求めください。  
チケットぴあ ローソンチケット CNプレイガイド e+ (イープラス)

---

〇〇 2 回 戦 の 詳 細 〇〇

9月7日(土) 13:00キックオフ

東北電力ビッグスワンスタジアム

## アルビレックス新潟 4 — 2 新潟経営大学

第93回天皇杯全日本サッカー選手権大会

第93回天皇杯全日本サッカー選手権大会2回戦で史上初の新潟県勢同士の戦いとなった東北電力ビッグスワンの試合は、J1のアルビレックス新潟が新潟経営大学の奮闘に苦戦をしいられたものの延長戦の末、4-2で競り勝った。アルビレックス新潟には3回戦での快勝に期待する。

### 創立65周年

#### 記念式典をおえて

創立65周年記念事業  
実行委員長

光野 治

平成25年9月14日(土)  
創立65周年記念式典に際して皆様へ一言お礼申し上げます。

ホテルオークラ新潟において、協会各種委員会役員、各自治体、企業、団体の皆様からの温かいご支援頂き多数の参加により盛大に式典を終了することができました、これも皆様の「ご指導、ご支援によるもの」と心より感謝申し上げます。

当協会では、65周年事業として昨年より新事務所への移転、W杯開催10周年事業、新潟スタジアムにサッカー像建立、協会創立60年史発刊、創立65周年記念式典を行ってまいりました、そして各委員会、種別にチーム還元事業を推進しております。

また、普及、育成、強化は勿論のこと「する」「みる」「支える」そしてスポーツと観光の融合を図り「スポーツツーリズム」を行政とともに推進して参りたいと思っております。

65周年をひとつの区切りとして、これからも行政、企業、協会が一体となって皆様のご指導、ご支援を賜りながら新たなスタートとして考え更なる発展に努力したいと思っております。皆様のご協力に感謝し心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

### 式典

#### 〔開式の辞〕

新潟県サッカー協会副会長  
光野 治

#### 主催者代表挨拶

新潟県サッカー協会会長  
澤村 哲郎

#### 来賓挨拶

日本サッカー協会副会長  
田嶋 幸三 様

北信越サッカー協会会長  
平林 正光 様

新潟県 県民生活・環境部長  
中村 稚枝子 様

新潟県体育協会会長  
馬場 潤一郎 様

表彰

〔65周年記念受賞者 一覧参照〕

特別賞(個人)  
特別功労賞(個人)

功労賞(個人)  
感謝状(個人)(団体)

表彰者代表挨拶

特別功労賞  
感謝状

感謝状  
小嶺 忠敏 様

〔閉式の辞〕

新潟県サッカー協会副会長  
光野 治

### 講演会

#### 〔開会のことば〕

新潟県サッカー協会専務理事  
渡辺 滋

#### 主催者代表挨拶

新潟県サッカー協会副会長  
光野 治

#### 講師紹介

講演  
種田 和義 様  
(元新潟日報社 論説委員長)

演題  
「協会65周年の歩み」

講演  
二宮 清純 様  
(スポーツ評論家)

演題  
「スポーツとともに歩む 社会作りの推進と国策」

〔閉会のことば〕

新潟県サッカー協会専務理事  
渡辺 滋

### 祝賀会

#### 〔開宴の辞〕

主催者代表挨拶  
新潟県サッカー協会会長  
澤村 哲郎

#### 来賓挨拶

日本サッカー協会副会長  
田嶋 幸三 様

新潟県知事  
泉田 裕彦 様

衆議院議員  
長島 忠美 様

新潟県議会議員  
尾身 孝昭 様

来賓紹介

鏡開き

祝電披露

乾杯

新潟市長  
篠田 昭 様

歓談

Swing kotsu 「演奏」  
万代長嶺万代太鼓 「和童」  
リフティングパフォーマンス P.A.S

万歳三唱

新潟日報社  
神田 敬輔 様

〔閉宴の辞〕

新潟県サッカー協会副会長  
柄沢 正三

## 講師紹介

### 種田 和義 氏

元新潟日報社論説委員長



1950年、五泉市(旧村松町)生まれ。新潟大学卒業。1974年、新潟日報社入社。運動部長、論説委員、論説委員長などを経て2011年3月末に退社。1994年から4年間、報道部スポーツデスクとしてW杯誘致、アルビレックス結成などの報道にかかわった。

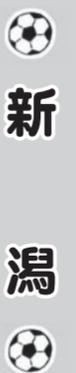
### 二宮 清純 氏

スポーツジャーナリスト  
株式会社スポーツコミュニケーションズ代表取締役



1960年、愛媛県生まれ。スポーツ紙や流通紙の記者を経てフリーのスポーツジャーナリストとして独立。オリンピック、サッカーW杯、メジャーリーグ、ボクシング世界戦など国内外で幅広い取材活動を展開中。東北楽天ゴールデンイーグルス経営評議委員。日本サッカーミュージアムアドバイザーボード委員。「勝者の思考法」「スポーツ名勝負物語」「ワールドカップを読む」など著書多数。

## 2013 フットボールデー



### 2013・フットボールデー開催!!!

新潟地区サッカー協会理事長

佐々木 篤行

9月1日、残暑が続く中、新潟市鳥屋野球技場において「2013・フットボールデー」を開催致しました。

今年も昨年同様に、新潟地区のレディースチーム対抗戦並びに、少年チーム・父兄チーム合同サッカー大会開催いたしました。

レディース対抗戦はママさんから中学生と参加選手層は幅広く、素晴らしい熱戦が随所に繰り広げられ、中にはレディースとは思えない程の激しいプレーや、思わず頬が緩んでしまうようなプレーも多く見受けられました。又、中学生選手では日頃は他校同士ではありますが、この日は同じ「サッカー仲間」と言う共通点から交流もあつたようです。選手の方々とお話をすると、「お母さんと娘さんと同じチームです。」と言った参加者もあり、「サッカーのすばらしさ・つながり」を更に痛感し感激をいたしました。

当日は、レディースと同時に少年チームの試合も行い、1年生(6年生迄)の選手が学年の枠をこえて対戦するなど多くの試合が行われ、こちらも素晴らしいプレーの連続でした。又、日頃は子供達を応援席で見守っているご父兄の方々も、この日は同じピッチにたつて子供達と対戦し、子供達の成長を感じながら、親子サッカー試合を繰り広げ、和気藟々な場面も多くありとても楽しそうでした。

9月1日の「2013・フットボールデー」は、レディース・ジュニア・保護者の皆様にとって「サッカーファミリー」である事を深く感じていただき、又、この大会を次回にも継承し、ファミリーの輪を徐々に広げていき、「サッカー」を通じて更なる交流の場を提供していけるよう、今後も意義ある大会にしていきたいと思っております。

尚、当日参加していただいたチームの皆様、運営にご協力いただいた関係者各位には、心より感謝し御礼を申し上げます。誠に有難うございました。





# 国際ユースサッカー in NIIGATA

## 新潟選抜、日本代表に 3年連続勝利!!

優勝	U-17 アメリカ代表
2位	U-17 クロアチア代表
3位	U-17 新潟選抜
4位	U-17 日本代表



### 「国際ユースを終えて」

U-17新潟県選抜 監督 宮崎 広志

2013年7月13日(土)～15日(月)は、昨年の岐阜国体に出場したメンバー(U-16新潟県選抜)をスッパカーin新潟がU-17アメリカ代表、U-17クロアチア代表、U-17日本代表を新潟の地に迎え、U-17新潟県選抜を加えた4チームで開催された。今年10月にUAEで開催されるU-17ワールドカップを控えて、アメリカ代表は残念ながら予選で敗退したもののこのチームでの最後の大会、クロアチア代表と日本代表はワールドカップへの出場が決まっております。重要な強化の大会と位置づけられていると聞いていました。

U-17新潟県選抜は、昨年の岐阜国体で果前半のうちに4失点をし、逆転を許してしまいました。後半はメンタルな部分・ポジショニングと準備という面で修正を加え、押されつつも膠着状態になりました。試合終了間際には相手を崩しチャンスを得たものの、得点には至らず互いに無得点、3-4のまま黒星発進となりました。

2戦目は日本代表と対戦しました。連戦の疲労があるなかで選手たちがのモチベーションは非常に高く、過去2年連続代表を破っていることやチャンスがあれば代表に選出されたい・復帰したいという要素が働きました。

前半から3得点を奪ったものの、2失点目を境に気持ちが悪く引けてしま

い受け身になり、結果前半のうちに4失点をし、逆転を許してしまいました。後半はメンタルな部分・ポジショニングと準備という面で修正を加え、押されつつも膠着状態になりました。試合終了間際には相手を崩しチャンスを得たものの、得点には至らず互いに無得点、3-4のまま黒星発進となりました。

2戦目は日本代表と対戦しました。連戦の疲労があるなかで選手たちがのモチベーションは非常に高く、過去2年連続代表を破っていることやチャンスがあれば代表に選出されたい・復帰したいという要素が働きました。

前半から3得点を奪ったものの、2失点目を境に気持ちが悪く引けてしま



すると前半終了間際には怒濤の攻撃を仕掛けて1得点にとどまりました。後半は前線からの守備を献身的に行っていた飯野選手(アルビレックスユース)や中盤での修正を繰り返していき、最終ラインを突破するカという戦いになるかと考えていました。案の定、アメリカ代表のゴール前は非常に堅く、なかなかシュートまで持ち込ませてもらえない中で、後半20分頃パスミスからの失点とその後のアンラック(共ニアルビレックスユース)の奮闘とGKの伊勢亀選手(新潟工業高校)のファインセーブの連続もあり、1対0で勝利することができました。

最終日の3戦目はアメリカ代表との対戦になりました。2日目までの結果により、2得点差以上の勝利で優勝、大差で敗れると日本代表対クロアチア代表の結果如何では4位というレギュレーションでした。アメリカ

代表の試合を2試合見て、サイドから入り込む最終ラインを突破するかと考えていました。案の定、アメリカ代表のゴール前は非常に堅く、なかなかシュートまで持ち込ませてもらえない中で、後半20分頃パスミスからの失点とその後のアンラック(共ニアルビレックスユース)の奮闘とGKの伊勢亀選手(新潟工業高校)のファインセーブの連続もあり、1対0で勝利することができました。

最終日の3戦目はアメリカ代表との対戦になりました。2日目までの結果により、2得点差以上の勝利で優勝、大差で敗れると日本代表対クロアチア代表の結果如何では4位というレギュレーションでした。アメリカ

### 第五回Kurucco キッズサッカー フェスティバルU-8

本大会は、新潟県総合生活協同組合様のご後援をいただき、小学校低学年年代にゲームの楽しさを体験させる、低学年からの競技力の向上と健全な心身の発育を図ることを目的として行っている。平成二十五年九月七日、聖籠スポーツセンターを会場に、県内八つの関係された皆様から参加した。一般村にも遅ればせながら、チームが参加した。一礼申し上げます。ありがとうございました。

本大会は、新潟県総合生活協同組合様のご後援をいただき、小学校低学年年代にゲームの楽しさを体験させる、低学年からの競技力の向上と健全な心身の発育を図ることを目的として行っている。平成二十五年九月七日、聖籠スポーツセンターを会場に、県内八つの関係された皆様から参加した。一般村にも遅ればせながら、チームが参加した。一礼申し上げます。ありがとうございました。



### 新潟県サッカー協会医科学委員会について

医科学委員長 大森 豪

I. 構成  
現在、委員長は私、大森豪(新潟大学・整形外科)が務め、副委員長が岡田節郎(下越クリニク・内科)、医科学委員として涌井元博(猫山宮尾病院・整形外科)、山際浩史(新潟大学、整形外科)、谷藤理(新潟大学、整形外科)、勝見亮太(新潟大学、整形外科)の6名で構成されています。

II. 主な活動  
活動の中心は、新潟県サッカー協会が開催する各種の大会やイベントにおける選手及び会場の医事運営です。

天皇杯やキリンチャレンジカップ、国際ユースサッカー、高校選手権、高田宮杯、北信越プリンスリーグなど毎年開催される大会をはじめとして、今年8月に北信越国体の医事運営も行いました。また、山際先生、谷藤先生はアルビレックス新潟トップチームのドクターとして、私はレディースとユースのドクターとしてサポートを行っています。

さらに、国体少年男子チームに対して理学療法士のスタッフ(角張勲、江玉陸明、五百川威)が中心となり、医科学委員会との連携で、練習、遠征、大会へのサポートと帯同を行っています。

III. 今後の展開  
今後、現在の活動をさらに充実させるとともに以下の内容についても活動の幅を広げる予定です。

①選手の怪我や障害の治療に対応できる医療ネットワークの構築  
新潟県の各地域に医科学委員会と連携して対応できる最寄りの医療施設を構築し、ホームページを通じて広く周知したいと思っています。

②選手、指導者への医学情報の普及活動  
今年、高校の指導者の方々を対象とした講習会で山際先生に講義をしてもらいました。今後、各種別の委員会や地区の協会と協力させていただきます。このような企画を増やしていければと思っています。

③医科学委員会の充実  
これまでの医師のみの構成から、理学療法士や看護師の方々にも参加していただき活動の幅を広げたいと思っています。

以上、簡単ですが医科学委員会について紹介しました。今後も、新潟県のサッカーファミリーのために活動したいと思っておりますのでご協力よろしく願います。

# FC五十嵐 北信越大会優勝!! adidas CUP出場!!

**クラブユース選手権  
(北信越及び全国大会)  
を終えて**

FC五十嵐ジュニアユース代表  
北垣 大介

この度、北海道帯広市にて行われたadidas CUP 2013第28回日本クラブユースサッカー(U-15)選手権に(当クラブといたしましては8年ぶり2度目)出場をさせていただきました。前回出場時は東京ヴェルディ、京都サンガなどに大敗し、予選ラウンド3試合での得点はわずか1点、もちろん予選ラウンド敗退でした。

そこから8年、当クラブが、新潟・北信越と全国レベルとの差を計るための大会として挑んでまいりました。その結果、予選ラウンドを2勝1敗で突破、決勝トーナメントでは強豪東京ヴェルディに負けはしたものの、選手たちは幾度となく相手ゴールを脅かし、最後まで堂々とした闘いぶりをしてくれました。

以前とは違い、今の北信越にはアルビレックス新潟はじめカタレ富山などのJリーグ下部組織が存在し、それら素晴らしいチームと切磋琢磨することによって着実にレベルが上がっていることは間違いないと実感いたしました。

そして間違いなく、新潟県のレベルは上がっています。所属チーム、そしてトレセン活動、指導者養成活動等、新潟県全体の成果は確実に出てきていると感じました。これに甘んじることなく、私も含め、日頃、選手たちを指導しておられる指導者の皆様、これからも個々が目標を持ち、お互いに精進していきましょう。

最後に北信越・全国大会出場にあたり、多くの関係者の皆様より、激励・ご支援頂きました。この場を借りまして御礼申し上げます。



## 【北信越大会結果】

- 7 / 14 2回戦 vs カターレ富山 (富山県第1位) 2対2 (PK: 5対4) ○
- 7 / 20 準決勝 vs AC長野パルセイロ (長野県第1位) 4対0 ○
- 7 / 21 決勝戦 vs 敦賀FC (福井県第1位) 7対2 ○

## 【全国大会結果】

- 8 / 15 予選ラウンド第1戦 vs スマイス・セレソン (九州第5位) 7対2 ○
- 8 / 16 予選ラウンド第2戦 vs 名東クラブ (東海第7位) 6対0 ○
- 8 / 17 予選ラウンド第3戦 vs ジェフユナイテッド千葉 (関東第4位) 0対2 ●
- グループ2位で決勝トーナメント(ラウンド32)へ進出
- 8 / 19 決勝トーナメント1回戦 vs 東京ヴェルディ (関東第1位) 2対3 ●

## 第11回新潟県女子フットサル大会 (第10回全日本女子フットサル選手権新潟県大会) 第10回全日本女子フットサル選手権北信越大会 新潟県女子フットサルリーグプレリーグ

女子フットサル選手権大会の新潟県予選となる新潟県女子フットサル大会は、平成25年8月3、4日に、新潟市体育館にて開催されました。県大会は、この数年来新潟の女子フットサルのトップを走り、県フットサル女子選抜の核にもなっているBLATTSを中心に進みました。BLATTSは、中学生主体のセントヴィゴレ、大学生主体の上越教育大学女子サッカー部、年齢幅の広いFC・MEWL、さらにフットサル愛好者チームのAIRFC全てに勝利を収めて優勝しました。ポールのスキル、サッカーの基本的な戦術理解の高い選手を揃えたBLATTSの優勝は順当であったものの、優勝チームを苦しめ、1点差で惜敗したセントヴィゴレのはつらつとしたプレーぶりも印象的でした。男子の世界ではなかなか経験できない、新潟県のトップでサッカーを経験した選手と、これからの活躍が期待される選手が競い合う場は女子ならではの思いです。またフットサルの可能性としても、スキルと戦術能力は持っているものの、11人でのサッカーにおいては体格や体力で遅れをとる選手がトップレベルでプレーできる場として存在しうる可能性も考えられます。冬季期間のトレーニングとしての価値ももちろん高いのですが、競技としてフットサルを追求することも、フットサルの楽しみ方の一つであると考えています。



県大会に続く北信越大会は、平成25年9月21、22日(土、日)に、新潟市潟東



体育館にて行われました。北信越大会での優勝候補一番手は、昨年の優勝チームである福井県の丸岡LUCILEディース。男子チームが出場する小学生の全日本少年フットサル大会に女子チームとして初めて県代表として出場したことがある丸岡LUCILEガールズのお姉さんチームであり、2012年度には全日本女子ユース(U-15)フットサル大会で丸岡LUCILEレディースが優勝しています。二番手には一昨年、その前年の優勝チームである富山県のOWN GOALが続きます。県勢のBLATTSも県大会では7名エントリーであったところへ3名追加し、必勝態勢を整え優勝を見据えて準備を整えてきました。

この大会の優勝チームが、11月2、4日(金、日)、福岡県の北九州市総合体育館で行われる全国大会に出場します。北信越代表チームの全国大会での健闘を祈念しています。

ここで、新潟県女子フットサルリーグプレリーグについてのお知らせです。

新潟県サッカー協会、新潟県フットサル連盟では、いろいろな可能性を持ったフットサル

になろうとしているフットサル連盟では来言ってもよいかと思えるべき正式なリーグ発足を。これらのことか足へ向けて、プレリーグを行うことにしました。(公財)日本サッカー協会は、地域や都道府県レベルでもリーグを実施することを推奨しています。サッカーのある生活が、大会の時期のみならず、日常的に身の回りである状況とすることもよいでしょう。日常的な生活が、大会の時の参加を促すという点で言えば、基本的にはチーム単位での参加をお願いしたいのですが、まずは、フットサルをより積極的にプレーしていきたいと考えている女性すべての参加をお認めするつもりです。プレリーグでは、チーム対抗で試合を行うほか、県内のフットサル指導者によるフットサルクリニックも予定しています。日程、お問い合わせ先は以下のとおりです。ぜひ多くの女性プレイヤーの参加をお待ちしております。



9月23日、10月19日、11月13日  
お問い合わせ先  
新潟県フットサル連盟  
森 mori@birdie.nigata-u.ac.jp  
お問い合わせ先  
新潟県サッカー協会、新潟県

祝

悲願達成

# 2020年 東京オリンピック・パラリンピック開催決定！

## オール日本！！ おもてなしの心、伝わる！！

長い間の悲願が達成され昭和 39 年以来、二度目の開催が決定し、日本中が歓喜に包まれ、オリンピック一色となった。東京オリンピック・パラリンピック開催は当県にとっても大きな喜びである。関東圏に隣接し、豊かな自然を生かしたスポーツ環境に恵まれるとともに保養地

としての観光地も多く、海外からの来られる選手の事前キャンプ地としても最高である。この機会に海外チームの招致また観光客の誘致にも積極的に努め、新潟県・市町村・スポーツ団体の活性化につなげたいものがある。

### 東日本大震災復興支援

期日：平成25年 8 月 16 日(金)から 18 日(日)

## 第34回北信越国民体育大会 サッカー競技報告

### 本国体出場を決めて

少年監督 原 伸洋

少年選抜は地元での北信越ブロックを無事通過し、本国体へ出場できることとなりました。大会を運営してくださった関係の皆様及び本選抜チームへご支援とご協力くださった関係の皆様には深く感謝申し上げます。

さて、少年選抜は北信越国体において福井県と石川県と対戦しました。いずれのチームにもトレセンリーグでは勝つことができませんでしたが、試合時間が短く、一発勝負の北信越国体では全く別の厳しい試合だった石川がどのような

少年選抜は地元での北信越ブロックを無事通過し、本国体へ出場できることとなりました。大会を運営してくださった関係の皆様及び本選抜チームへご支援とご協力くださった関係の皆様には深く感謝申し上げます。

さて、少年選抜は北信越国体において福井県と石川県と対戦しました。いずれのチームにもトレセンリーグでは勝つことができませんでしたが、試合時間が短く、一発勝負の北信越国体では全く別の厳しい試合だった石川がどのような

### 第34回北信越国民体育大会を終えて

新潟県女子国体選抜 総務 緒方 牧

今年の北信越国民体育大会は地元新潟県開催ということで、澤村会長をはじめ多くの協会関係者の方々の応援、(公財)新潟県体育協会の皆様のお力添えを頂くことが出来、見事東京国体の出場権を得ることが出来ました。本当にありがとうございました。

今年の活動は5月6月に選考練習会を行い、7月に最終選考会で16名を選出。その16名で強化練習会、強化遠征を行ってきました。今年のチームは

戦術を選択してくるのか、我々は様々な状況を想定しなければなりません。結果として、石川のディフェンスラインの背後を徹底的に衝く戦術をとります。

このチームにおいて、私は選手の個性を最大限発揮できるようにサッカーを展開したいと考えて取り組んできました。本



国体では、石川相手には5-2と勝利を収めることが出来ました。チームのコンセプトからいみると、攻撃の面に関しては、得点も多く取ることが出来たので良かったとは思いますが、守備の面では「連携」というところで綻びがみられ、失点に繋がってしまいました。

### スポーツ祭東京2013 第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会 試合結果

#### ○ 女子

日時：9月30日(月) 11:30～  
場所：清瀬市 清瀬市立下宿第三運動公園 サッカー場(人工芝)  
新潟県 1 - 2 鹿児島県 (延長)

#### ○ 少年男子

日時：9月29日(日) 10:00～  
場所：府中市 朝日サッカー場  
新潟県 1 - 1 愛知県 (PK 5 - 6)

#### ●● スマイル&チャレンジ ●●

当協会にご支援いただいている法人各社

TONY テレビ新潟 BSN新潟放送 新潟日報  
東北電力 総合生協 新潟県信用基金協会  
2007年宣言の実現のため諸事業に取り組んでいます!!

#### 東日本大震災 復興支援

### がんばろうニッポン!

サッカーファミリーのチカラをひとつに!